

だれ 誰のお墓なの？

うきしまが はらしゅうへん
浮島ヶ原周辺のリーダー

石室や墳丘の大きさ、副葬品の種類や量などから、千人塚古墳は、飛鳥時代の静岡県東部地域ではトップクラスの首長のお墓であったとみられます。
当時の浮島ヶ原周辺では、牛や馬の放牧、山林の開発、木材の加工、糸・布・鉄・ガラス製品などの生産、カツオなどの海産物の加工がおこなわれており、これらの新しい産業にも深くかかわったリーダーの可能性もあります。

やまとおうけん むす
倭王権との結びつき

石室から出土した金銅製の飾り金具は、飛鳥時代の仏像の飾りと共通する文様がつけられた珍しいものです。これは、当時の倭王権と千人塚古墳の首長との結びつきを示す重要な品物です。



亡くなった人のために、千人塚古墳の前でおまつりをする様子
/ 復元画制作：田中さとこ

せん にん づか こ ぶん い ち
千人塚古墳の位置

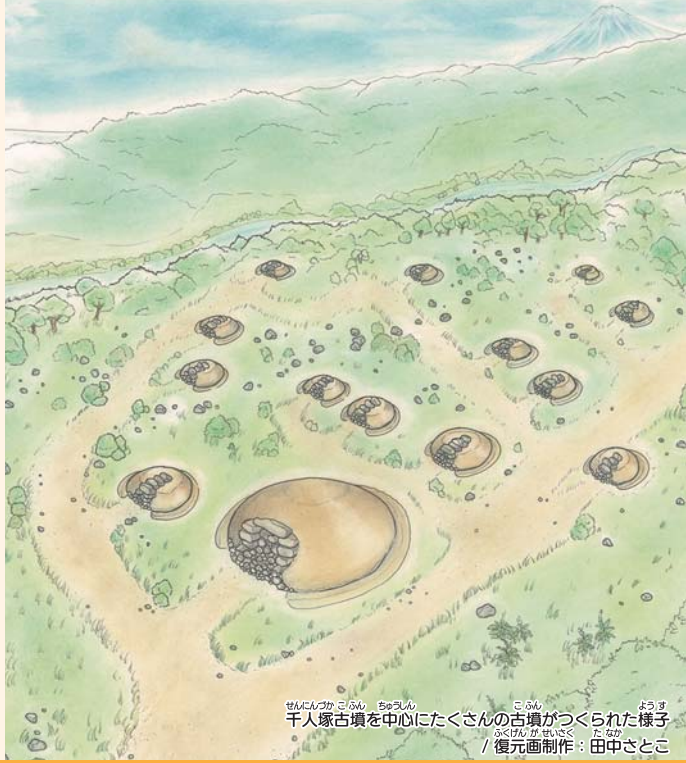


こうつう あんない 交通案内
路線バス：吉原中央駅から富士急行バスに乗車(約20分)、[須津中入口]下車、徒歩20分
電 車：富士駅から路線バス吉原中央駅で乗り換え もしくは車で20分
新富士駅・吉原駅から車で20分
岳南電車 神谷駅から徒歩25分
車：東名高速愛鷹スマートICから25分(駐車場あり)

Sudo-Senninzuka Tumulus



ふじししでいしせき
富士市指定史跡
せん にん づか こ ぶん
千人塚古墳と
い さん
すど遺産マップ



せん にん づか こ ぶん
千人塚古墳を中心にたくさんの古墳がつくられた様子
/ 復元画制作：田中さとこ

発 行：富士市教育委員会 文化財課

令和7年11月

ふ じ し
富士市

千人塚古墳ってなに？

約 1400 年前につくられたお墓

富士市神谷にある千人塚古墳は7世紀中ごろ（飛鳥時代）につくられたお墓です。富士市の歴史を伝える大切な文化財として、富士市指定の史跡になっています。

静岡県東部最大級の横穴式石室



千人塚古墳は、直径約21mの円形の古墳（円墳）で、出入りができる石の部屋（横穴式石室）に、少なくとも4回の埋葬が行われています。千人塚古墳の石室は、長さ11.5m、幅2.05m、高さ2.35mで、静岡県東部では最大級の大きさです。

現在見られる千人塚古墳と須津 J- 第12号墳の床面の敷石は、須津地区のみなさんが2025年に須津川から運んだものです。

飛鳥時代の珍しい副葬品

石室からは、装身具（アクセサリー）、武器、工具、馬具、銅製のお鉢、土器など、亡くなった人のために石室におさめられたいろいろな品物（副葬品）が見つかりました。



唐草文金具

馬の道具、副葬品の一部

すど遺産マップ



千人塚古墳普及大使 須津のせんまくん

特徴：須津千人塚古墳の被葬者の愛馬が、妖精になった姿。千人塚古墳で発掘されたキレイな金具を羽につけている

好きなこと：パタパタと華麗に空を翔けること

日課：須津古墳群を空から見守ること

あこがれ：聖徳太子の愛馬・甲斐の黒駒（太子と富士登山を余裕で達成したから）

悩み：最近、お腹がちよっと重たい…



デザイン 田中さとこ



4世紀前半ごろにつくられた全長約91mの前方後方墳で、富士市域では最初の首長の墓です。南側に広がる浮島ヶ原や駿河湾の船上からもよく見えるように、計画的につくられました。



6世紀後半ごろにつくられた円墳。周囲には6世紀末から7世紀前半の小円墳が多くあり、その集団の首長の墓とみられます。



6世紀初めごろ、富士山の噴火で埋もれた集落のあとにつくられました。災害後の地域をまとめた首長の墓と考えられます。



13世紀中ごろの創建と伝わる神社。戦国時代以降は、修験寺院・多門坊が隣接して、山伏の活動拠点となりました。



背後にある溶岩の割れ目には、不動明王の使いの白蛇が住んでおり、その姿を見ることができると言われています。



中里の寺院・慶昌院の境内にあるカヤの木。高さ約20m、幹の太さ（周長）約4.7m。



胸まで泥につかって田植えをするような「ドブツタ」でも作業がしやすいよう工夫された道具が使われました。（富士山かぐや姫ミュージアム分館 歴史民俗資料館にて展示）